



# 入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子！

2019年5月10日

No. 2

TEL 46-2655

FAX 46-2654

学校教育目標：夢に向かって、主体的に学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成

目指す児童像：《 ーかしこくー ーたくましくー ーやさしくー 》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子

心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

## 節目の年度～平成から令和の時代へ～

### 時代を超えて「運動する子」の育成・継続 ー運動会に寄せてー

日本で初めて運動会が開催されたのは、1874年（明治7年）、  
東京・築地の海軍兵学寮で催された「<sup>きょうとうゆうぎかい</sup>競闘遊戯会」とされてい  
ます。また、1878年（明治11年）に札幌農学校（現北海道大学）



で行われた「<sup>りきげいかい</sup>力芸会」では、障害物競走や食菓競争（パン食い競争）などのゲーム  
がすでに行われていたようで、北海道が運動会発祥だという説もあるようです。昔  
から、体を鍛えることを主眼にしながらも、楽しむことを忘れない大切な行事であ  
ったことが伺えます。

時代は平成から令和を迎え、節目の年度です。体を鍛え、楽しむことを目的とし  
た運動会は、時代が変わろうとも、現在も受け継がれてきている行事であることを  
改めて認識しました。

令和元年の本校の運動会は、5月18日（土）に開催されます。今年度の入谷小  
学校児童会のスローガンは『みんなで力を合わせ、心をつつに入谷っ子』です。運  
動会では、全校児童67名が紅白に分かれ、得点を競い合います。もちろん、子供  
たち一人一人は、“自分の目標をしっかりとつこと”“その目標に向かって一生懸命  
練習（努力）すること”“当日、自己ベストを出すこと”も目指しています。

運動会当日は「自己ベストを目指す67名の姿」を是非ご覧いただき、頑張る子  
供たちに大きな声援・拍手をお願いいたします。

さらに、本校がコミュニティ・スクールとして初めて実施する運動会でもありま  
す。教職員や子供たちはもちろんのこと、保育園児の皆さんや卒業生の皆さん、家  
族の皆様や入谷地区民の皆様が心をつつにし、運動を通して、  
入谷地区民の親睦が図られますよう祈念しております。

当日は、多数のご来校、心よりお待ちしております。



## 今、子供たちに伝えたいこと ◆ 挑戦・継続 ◆

「成功の反対は失敗ではなく『やらないこと』だ」

【なでしこジャパン前監督 佐々木 則夫】



なでしこジャパンといえば、2011年ドイツで行われた女子サッカーワールドカップで男女を通じて初めて優勝、2012年ロンドンオリンピックでは銀メダルを獲得、と輝かしい成績を残し、私たちに大きな感動を与えてくれました。

その時のなでしこジャパンの監督が佐々木則夫さんです。佐々木監督は、33歳で選手を引退し、指導者の道を歩み始めたそうです。指導者になってからも「僕の成長が止まってしまうと、なでしこジャパンは世界の中で遅れをとってしまうんだ」という常に挑戦する心を前面に出し「選手が成長するかどうかは、技術や知識ではなく、決意が本物かどうかで決まるものだ」と本当にやりたいことに本気で向かい挑戦する気持ちが大切であるとも言っています。そして、選手一人一人が自分で考えてプレーできるようにしたり、目的をはっきり示してあげたりすることを実践したそうです。

もちろん、挑戦する気持ちを佐々木監督のように、何年間も持ち続けることは大変なことです。私自身も途中でやめたくなることもあります。そんな時には佐々木監督の「成功の反対は失敗ではなく『やらないこと』だ」ということばを思い出します。頑張っ乗り越えられる言葉として「何回でも少しずつ考えたことを基に挑戦し続けること。何もしなければ何も変わらない。成功もしない。」を励みに、私自身も職務に専念していきたいと思っています。

子供たちは、今よりも「もっとよくなりたい」「できるようになりたい」という気持ちをもっているが、一つのことが長続きしなかったり、いろいろ挑戦するが、すぐにやめてしまったりすることが多いと思います。また、途中で壁にぶつかると、違う方法を考えたり、他の人に聞いたりしないで、悩むだけでやめてしまうこともあります。目的を達成するためには、目の前の小さな壁を一つずつ自分で乗り越えることを繰り返しながら、近づいていきます。運動会を前に、挑戦するすばらしさと、挑戦する大切さを子供たちに伝えていければと思っています。

ご家庭においても、運動会を前に、お子さんがどんな目標を掲げているかを確認してみてください。その目標に向かって力を出し切れるよう励ますことで、さらに“未知なる子供の力”が湧いてくると思います。

子供が目標に向かい努力し「挑戦続けることの大切さ」を促す言葉として活用してみてください。

